宮崎県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	100点
問題構成	大問４題。地理・歴史・公民の分野ごとに大問各１題と地歴公民の三分野融合問題が１題。 地理は，世界地理分野で13点，日本地理で16点。合計29点。 歴史は，古代から近世分野で17点，近代から現代分野で12点。合計29点。 公民は，政治分野から15点，経済分野と国際社会から15点。合計30点。三分野融合問題から12点分出題された。論述問題が９問と減少し、配点も29点となった点が昨年度との大きな変更点となる。		

	令和8年度(2026)	令和７年度(2025)	令和６年度(2024)	令和５年度(2023)	令和４年度(2022)
問題量（A４で）	14ページ分	14ページ分	14ページ分	14ページ分	14ページ分
小問数	36問	39問	40問	36問	33問
論述問題の数	９問	13問	６問	５問	９問
論述問題配点	29点	39点	20点	20点	30点
合格者平均点	58.3点	51.4点	55.9点	62.0点	59.5点

【出題の傾向と対策】

① 論述問題は三分野とも穴埋め形式のものが多く出題され，複数の資料を読み取り，空欄に入る内容を考える問題が多い。近年では，選択肢から当てはまる内容を選ぶ問題も出題されている。

R8 大問1-1(4)

(4) 祐希さんは，資料１のオーストラリアについて調べていく中で，資料５を見つけ，「なぜオーストラリアでは，英語以外の表記もよく見られるのだろうか」という疑問をもち，資料６，７を使って下のようにまとめました。資料６，７をもとに，［①］，［②］に入る適切な内容を書きなさい。ただし，［②］には，「民族」という語を使って書きなさい。

※資料６，７省略

資料５ シドニーの風景



祐希さんのまとめ（一部）
資料５のように，オーストラリアで英語以外の表記もよく見られるのは，資料６，７から，［①］ことから，オーストラリア国内で［②］社会をつくる取り組みをしてきたからだと考えられる。

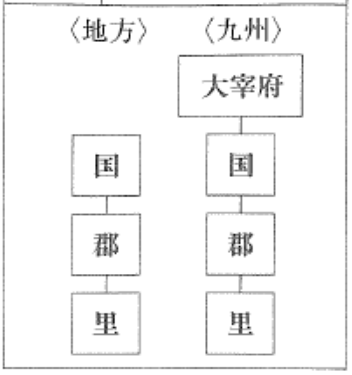
①社会的な事柄についての理由や要因を資料を見て考える力が求められている。

② 歴史分野では，日本の歴史と世界の動きに関する問題が例年出題されている。

R7大問2-1(3)

(3) 奏美さんは，カードCの下線部に関して，奈良時代から平安時代の国や郡の政治について資料3を見つけ，「なぜ九州には，他の地方と違って大宰府が置かれていたのだろうか」という疑問をもち，資料4を使って下のような仮説を立てました。資料4をもとに，［　　］に入る適切な内容を書きなさい。

資料3　律令制度の地方組織図



資料4　奏美さんが見つけた資料

7世紀半ばの東アジア



年	7世紀の九州のおもなできごと
630	初の遣唐使が博多湾から出発
663	白村江の戦いに敗北 九州北部に防人を設置

大宰府で発見された，平安時代初めに伝来した中国の青磁



(「太宰府市ホームページ」より作成)

奏美さんの仮説

資料3のように，九州に大宰府が置かれていたのは，資料4から，九州が［　　］において重要な役割を担っていたためだろう。

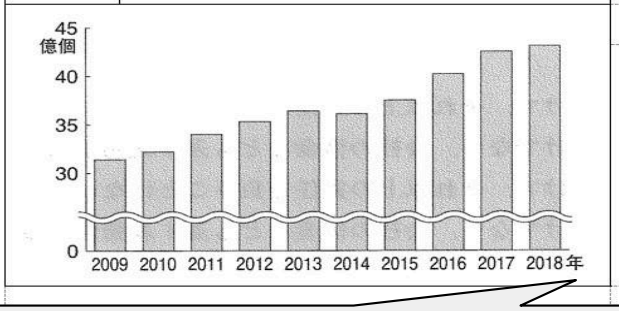
②資料から、大宰府が防衛と外交の要所であったことを読み取ろう。

③ 公民分野では時事的な内容や身近なテーマ，社会的な課題からの出題がよく見られる。

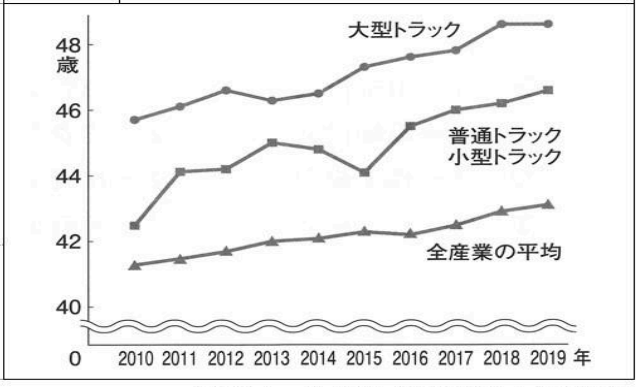
R4　大問3　1(4)

1□(4)□伸子さんは，資料1のスライドDに関して調べていく中で，ドローンの飛行ルールについての規制緩和が進み，宅配便などを運ぶ実験が行われていることを知り，「なぜドローンによる物流の実用化に向けた取り組みがみられるのだろうか」という疑問をもちました。そこで，資料4，5を使って，下のように仮説を立てました。資料4，5を関連づけて，［□□□］に入る適切な内容を書きなさい。

資料4　宅配便の取り扱い個数の推移



資料5　トラックドライバーと全産業の労働者の平均年齢の推移



(資料4，5「国土交通省資料」より作成)

③規制緩和について、現代日本の特色と結び付けて、資料と関連付けながら考える。

伸子さんの仮説

ドローンによる物流の実用化に向けた取り組みがみられるのは，資料4，5から，［□□□］ことが予測されるため，規制緩和によって新たなサービスを生み出してトラック輸送の一部を補おうとしているからだろう。

解答　R8　1(4)②(例)それぞれの文化を尊重する　　R7　1(3)(例)防衛や外交
R4　3(4)(例)増加する宅配便の需要に対し，トラックドライバーの高齢化が進み労働力が不足する